

# 第7号 稲作管理特報

令和5年7月7日  
朝 日 町  
黒東地域農業技術者協議会

コシヒカリの生育は、草丈がやや長め、㎡当たり茎数がほぼ平年並み、葉色がやや淡めに推移しています。幼穂形成期は、5月11日頃の田植えで、**7月10日頃**の見込みです。

穂肥は、葉色・幼穂長などの生育状況を確認して施用しましょう。

## 【コシヒカリの生育状況（みな穂管内）】

	田植日	6月27日				7月4日				幼穂形成期	
		草丈 cm	茎数 本/株	本/㎡	葉色	草丈 cm	茎数 本/株	本/㎡	葉色		
R5	5/11	53.5	26.4	507	4.1	64.4	23.3	478	11.4	4.0	7/10
平年	5/12	50.2	24.9	511	4.2	60.5	24.2	497	11.3	4.1	7/11

## 1. これからの水管理

… 暑い時こそ水管理が重要！

①出穂期まで：飽水管理を徹底し、稲の活力維持に努めましょう。

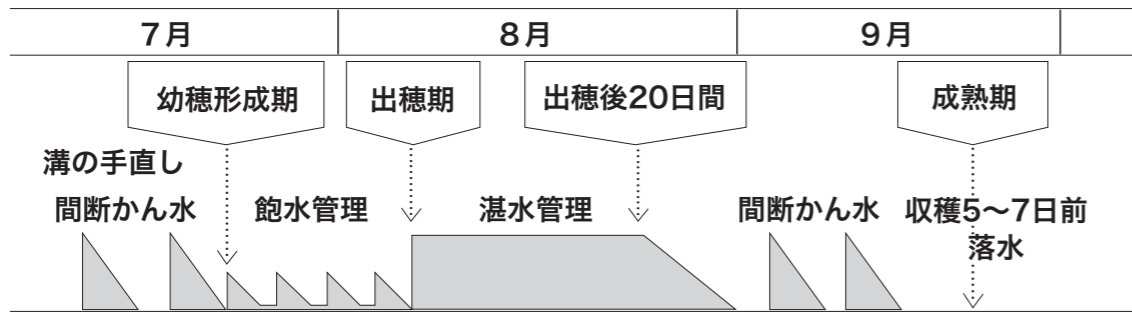
※飽水管理：入水の間隔を短くし、常に足跡や溝に水が残るくらいの状態を保ちましょう。ただし、4日以上、水が滞っていたら落水しましょう。

②出穂後：20日間は、田面が出ない程度の湛水管理を行いましょう。

・水をためっぱなしにせず、地域の用水事情に応じて、水の入替えを実施しましょう。  
かけ流しは絶対に行わない。

③湛水管理終了後～刈取り7日前まで：間断かん水で、稲の活力維持に努めましょう。

### ○今後の水管理



## 2. 斑点米カメムシ類対策

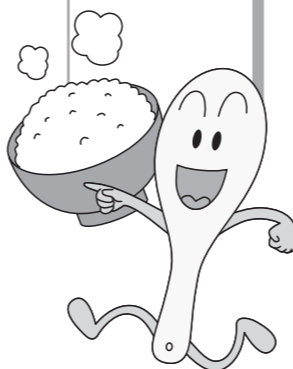
… 草刈りと適期の防除で斑点米の発生を防止！

(1) 一斉草刈り後は、雑草の穂が出ないように管理しましょう。

【注】草刈り時の農作業事故や熱中症に注意しましょう。

(2) 適期の防除で効果を高めましょう。なお、コシヒカリの一斉防除予定については、後日、防除特報を発行します。

※無人ヘリコプターでの防除計画については、折込みチラシなどで別途ご案内します。



高温でも夏バテしないよう  
水管理をこまめに行いましょう！

## 3. コシヒカリの穂肥

### 【幼穂形成期の生育量の目安】

幼穂2ミリ確認時（7月10日頃）		
草丈	茎数	葉色
72cm	470本/㎡	3.8

### ▷幼穂長からみた出穂前日数の目安

出穂前日数	22日前頃	20日前頃	15日前頃	10日前頃	7日前頃
幼穂長	2mm	5mm	1.5cm	10cm	13cm

### 【基肥一発肥料の場合】

穂揃期の葉色が淡いと、登熟期が高温となった場合、収量や品質が低下する恐れがあります。出穂7日前（7月24日頃）に、葉色が4.0（洪積土3.8）未満の場合は、追肥3号で5～7kg/10a施用しましょう。

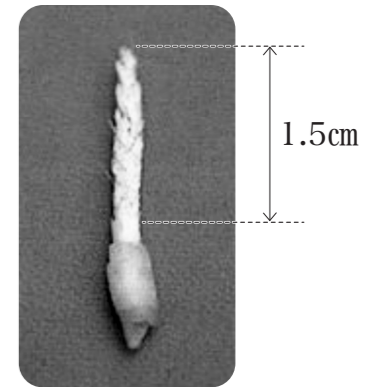
### 【分施肥系（基肥206号）の場合】

- 1回目の穂肥は、必ずほ場ごとに**幼穂長・草丈・葉色**を確認して施用しましょう。
- 2回目の穂肥は、粒の肥大を良くし、米の品質低下を防ぐ効果があるため、**確実に施用**しましょう。

### <穂肥施用の目安>

（幼穂形成期：7月10日頃 出穂期：8月1日頃）

穂 肥		第1回目	第2回目
草 丈		82cm	—
施用時	幼穂長	1.5cm	13cm程度
	葉 色	3.6	4.0
施肥時期		7月17日頃	1回目の7日後
肥料名		追肥3号	
施肥量		10kg / 10a	12kg / 10a



1回目穂肥施用時の幼穂

※ 1回目穂肥時の葉色が「3.8～4.0」のほ場では、**施用時期を2～3日遅くするか、施肥量を7割程度に減ら**しましょう。

※ 葉色が「4.0」より濃いほ場では、**1回目は施用しないで**ください。

### 地力増進作物を組み入れ、肥料コストの軽減を図りましょう。

（例）大麦跡 → クロタラリア(6-9月) → 水稻(4-9月)で、**基肥減肥 最大5割！**

- ・作物を栽培する予定のない大麦跡ほ場には、夏作緑肥を作付けし、地力の向上で肥料コスト低減を目指しましょう。斑点米カメムシの発生源となる雑草地対策にもなります
- ・マメ科作物(クロタラリア)は、根粒により空中窒素を固定するため、窒素濃度が高く、後作物の窒素供給源として効果的です。

### ★JAみな穂営農情報メールを配信しています。

主な情報  
提供内容

- ・ 水稻・大麦・大豆の生育情報及び今後の管理
- ・ 気象情報と災害防止の対策

右のQRコードを読み込み、案内に沿って手続きして下さい。

